

できる形で社会参加が促されていくことを願いながら活動しています。



▲収穫したイチゴで、パフェを作りました！

湖国文学活動応援むらさき基金

特定非営利活動法人 高島藤樹会

【ホームページのQRコード】



採択事業は「近江聖人『中江藤樹』の思想の、音声付き紙芝居による教育現場等での啓発事業」です。

高島藤樹会では、平成19年より、地域に古くから伝わる近江聖人、中江藤樹先生の物語（教えや遺徳）を紹介する紙芝居を作成してきました。現在18作品が完成しています。紙芝居は、高島市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、図書館など約50施設に寄贈され、ボランティアの話し手により上演されていますが、近年、話し手の減少や高齢化により上演の機会が減っています。

本事業では、藤樹先生の物語を、音声付き紙芝居としてDVD化し、高島市内の小中学校、公民館等に配布します。DVD化により、より質の高い教材として、小中学校の道徳の授業



や図書館等での上演の機会が増えることが期待できます。より親しみやすい音声付き紙芝居を上演することで、若い世代が早い段階から地域の歴史や文化に興味・関心を持ち、藤樹先生の教えをより一層探求してもらうこと、また将来、教育者あるいは親となって、藤樹先生の遺徳や教えを綿綿と語り継いでいくことを願っています。

お問い合わせ先 淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442

E-mail: office@ohmi-net.com

<https://www.ohmi-net.com/>



未来ファンドおうみ通信

No. 24

2021年7月1日発行
淡海ネットワークセンター

“想いを基金”に その基金をもとに“地域課題の解決”

— 未来ファンドおうみ助成事業 2021年度
助成先団体の活動がはじまりました —

【2021年度の助成決定の事業数】

① びわこ市民活動応援基金 A 助成	4 事業	(872,000 円)
・ びわこ市民活動応援基金 B 助成	採択なし	
・ びわこ市民活動応援基金 C 助成	1 事業	(100,000 円)
② びわ湖の日基金助成	3 事業	(775,000 円)
③ 積水化成品基金助成	1 事業	(200,000 円)
④ 笑顔あふれるコープしが基金助成	2 事業	(200,000 円)
⑤ ナカザワNEOフレンドシップ基金助成	1 事業	(100,000 円)
⑥ げんさん食育NPO基金助成	2 事業	(196,000 円)
⑦ 湖国文学活動応援むらさき基金助成	3 事業	(300,000 円)
⑧ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成①	採択なし	
・ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成②	1 事業	(300,000 円)
合計	18 事業	(3,043,000 円)



採択団体名・事業名一覧はこちらの
QRコードからご覧ください。

助成金を有効に使って、地域がさらに良くなる活動を展開して下さることに期待いたします。

2021年度 助成団体の活動

びわこ市民活動応援基金 A

特定非営利活動法人やんちゃ寺

やんちゃ寺に関わる役員やボランティアメンバーが、地域のお寺という場を活用し、生きづらさを抱える中高生が気軽に遊びに集まれる場や食事の場を提供します。草津市の遍照寺にて、毎月第1・5土曜日 14:00～16:00 に居場所活動、第3土曜日 10:00～16:00 に居場所活動と子ども食堂を実施します。



生きづらさを抱えている子どもたちの居場所「やんちゃ寺」では、子どもたちとはゲームや遊びを共有して話したり、学習に取り組みたい子どもとは勉強したり、ありのままの自分を認めてもらい、お互いの個性を尊重したあったかい時間を過ごします。

今年度は、活動拠点を拡大し、草津市の遍照寺のほ

か、東近江市の梵釈寺、彦根市の済福寺、愛荘町の豊満神社でも、土日もしくは放課後の時間帯に、地域の中高生の居場所の提供をはじめる予定です。放課後の居場所がない、高校中退者が多いなど、地域によって異なるニーズをていねいに把握し、時間帯や活動内容を地域に合わせて考え、その地域のお役に立てるやんちゃ寺を目指しています。

びわ湖の日基金

特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会

今年度の採択事業は「里山の自然の中で体験学習を楽しもう（来て見て作って自然教室）」です。

里山元気会は2004年に設立し、荒廃した里山の復元や、元気小屋・パン小屋などの施設の建設整備、森の音楽会や里山体験を実施してきました。

【ホームページのQRコード】



【ホームページのQRコード】



▲クラフト教室



▲ボルダリング遊具



▲親子で里山散策

今年度は、従来から行ってきた保育園児や小学校低学年主体の里山遊びに加え、高学年～大人を対象とした、野外体験学習・環境学習を実施します。具体的には、クラフト教室や、パン焼き教室、キノコ観察教室、山野草・花木の調査と観察、里山ボランティア体験などです。キノコ観察教室では、里山に生えているキノコを採って触れ、図鑑を見ながら種類や属性などキノコの性質を観察します。

里山の体験学習を通じて、未来を託する子ども達に自然豊かな環境の大切を知ってもらうとともに、元気な里山を育て次世代に引き継いでいくことを願い活動しています。

げんさん食育NPO基金

特定非営利活動法人あめんど

【ホームページのQRコード】



採択事業は、「僕らが主役の課外授業 イチゴ会」です。

近年、発達障がいのある児童を学校でいかに支援すべきかの問題があります。彼らは授業中、座席でじっとしていられなかったり、集団に馴染めなくて不登校になったりします。学校は多数の児童がいるため、これらの「特有の弱さ」を持つ子どもへの配慮が行き届かないのが現状です。

本事業では、そういった子どもたちのための課外授業を提供します。具体的には、いちごを育て、畑作業を体験し、体験したことを記録に書き、一年間の活動をまとめます。障が



▲イチゴ摘みの様子

いを持っていると消極的になり、自己肯定感も低くなりがちですが、自分のペースが守られ、活動の主人公として働くことで自信が育まれます。また畑作業により基礎体力をつけ、1年の植物の育ちを知ること自然への興味を深め、振り返りを行いまとめることで、書く力や考える力が養われます。これらの活動を通じて、子どもたちの活動の機会が広がり、安心